



編 集 発 行

広島県三次市吉舎町
広島県日彰館同窓会

印 刷

佐々木印刷株式会社



奥記念館

本部総会挨拶文



同窓会会長 塚 本 和 順

開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日、総会に先立ち若葉にあふれる善逝寺において平成27年度館祖祭を執り行いました。館祖のご遺族をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、厳粛のうちに終了しましたことをまず皆様にご報告させていただきます。

本日はご多用にもかかわらず下森県議会議員、木屋吉舎支所長（三次市長代理）、沖原三次市議会議長様をはじめ多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り誠にありがとうございます。

同窓生会員の皆様方多数ご列席いただき、本部総会が開催できますことは大きな喜びとするところです。

昨年は創立120周年の記念式典各々の記念事業を行いました。多額の浄財をお寄せいただき、目標額を超えましたことに心よりお礼申し上げます。記念事業も

予定通り進め完了いたしました。奥記念館整備については、耐震化工事の遅れもあり完了しておりませんので、早急に進める計画です。その他詳細につきましては後程上程いたします議案並びに承認事項の中で触れたいと思います。

新聞報道等ですすでにご承知のことと思いますが、本校同窓生奥田小由女先生が昨年日展の理事長にご就任されました。また、三次市名誉市民として顕彰されたということ、我々同窓生として大いに誇りに思いご報告いたします。

日彰館教育の理念は館祖が提唱されました三大主義即ち徳教主義・私学主義・田舎主義の基本に立ち、質実剛健・衆縁和合を旨とした校風を基本としています。公立学校の枠の中にあっても今日的に具現化され学校経営方針の基本においておられます。学校の現状については、母校校長から後程ご報告が拝聴できるものと期待しております。

同窓会としては学校当局が教育の灯を高く掲げて懸

命に努力されていることを強く強く支援するとともに永遠の存続と発展のために努力していくことを基本にすえて参ります。同窓生の皆様の更なるご支援ご協力をお願いいたします。

終わりにになりましたが、本日の館祖祭並びに本部総会及び懇親会の当番幹事として昭和58年3月卒業生

の皆様のお世話をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。また、本日ご出席いただきました皆様のご協力で本総会が無事終了できますことをお願い申し上げます。開会のご挨拶といたします。

平成27年4月26日

館祖祭祭文

今もなお昔の趣を留める桜谷に風薫る本日、衆縁和合の縁に連なる日彰館同窓会会員多数相集い、ここ善逝寺本堂において館祖のご遺族はじめご来賓の方々のご列席を仰ぎ、平成27年度館祖祭を執り行うに当たり、館祖奥愛次郎先生をはじめ歴代の諸先生のご霊前に謹んで日彰館の現況をご報告申し上げます。

昨年、母校が創立120周年を迎えられるに当たり、学校当局と同窓会の総力を挙げて記念事業を完遂いたしました。県内の諸学校の中でも稀にみる輝かしい歴史と伝統の節目の年を共に迎えることができました。師弟同窓一同の感激は、まさに後世に伝えられるものでありました。

しかしながら、日彰館がおかれております山水秀美の地におきましては、今日人口減少が更に深刻の度を深めており、併せて高校教育を取り巻く情勢は国際化・情報化などの社会変化の進展、少子化による高校生徒数の減少等により一層の変化が予測されております。

こうした時こそ、館祖が唱えられた徳教主義・私学主義・田舎主義の三大主義を根幹とする建学の精神の意義とその重みを再認識し、これを継承することを通して、日彰館の将来永遠の展望を開いていかなければ

ならないと考えます。同窓会といたしましては今後とも関係方面との密接な提携のもとに日彰館の特色ある高校づくりを積極的に支援してゆく所存であります。

母校におきましても、グローバル人材の育成と地域との密接な取り組みを推し進めているところであります。その一例として台湾の高校との姉妹校提携を具体化しております。台湾には、我々の先輩である磯永吉博士の業績が今日なお台湾大学に研究室等が保存されている功労を更に発展できるものであればと願っております。

また、「おもてなしプラン」を具体展開し、地域の中に生きる学校としての目的を完遂するために努力を続けております。

同窓会はもとより関係者一同が一体となって日彰館の発展に尽くし、館祖の最後のご遺訓であります「日彰館をよくしなければなりません」とのお志にお応え申し上げます。決意であります。

最後にご照覧と一層のご加護を賜らんことをお願い申し上げます。ご報告を終わります。

平成27年4月26日

広島県日彰館同窓会 会長 塚本和順



平成27年度 広島県日彰館同窓会 本部総会記念写真

平成27年度 館祖祭並びに本部総会報告

館祖祭

会場 善逝寺本堂
 時間 9:30～10:10
 次第 1. 開式の辞
 2. 黙祷
 3. 読経
 4. 祭文朗読
 (副会長 春田佳伯 様)
 5. 焼香
 (ご遺族・ご来賓・各支部
 長～他は回し焼香)
 6. ご遺族・ご来賓紹介
 7. 館祖祭の歌
 8. 閉式の辞

同窓会総会

会場 吉舎生涯学習センター
 時間 10:30～11:30
 次第 1. 開会の辞
 2. 黙祷
 3. 同窓会会長挨拶
 (副会長 春田佳伯 様)
 4. 祝辞(三次市議会議長
 沖原賢治 様)

5. ご遺族・ご来賓紹介
 6. 会務報告並びに諸報告
 7. 母校現況報告(日彰館高等
 学校長 吉田富志雄 様)
 8. 議事
 ・第1号議案
 平成26年度会計決算につ
 いて承認を求める件
 (監査報告)
 ・第2号議案
 平成27年度予算案につ
 いて承認を求める件
 ・承認事項
 役員交代について承認を求
 める件
 日彰館高等学校創立120周
 年記念事業について承認を
 求める件
 9. 閉会の辞

【記念写真撮影】

吉舎生涯学習センター前

時間 11:30～11:45

本部同窓会懇親会

会場 吉舎生涯学習センター
 時間 12:00～13:30
 司会 昭和58年3月卒業生代表(鳥井実香)
 次第 1. 開会の言葉
 2. 挨拶
 (同窓会副会長 林 千祐 様)
 3. 来賓祝辞(広島県議会議員
 下森宏昭 様)
 (三次市長代理吉舎支所長
 木屋繁広 様)
 4. 母校吹奏楽演奏(15分程度)
 5. 乾杯(ご発声 三次市議会議
 員 岡田美津子 様)
 6. 懇親(各支部代表によるス
 ピーチ 2分程度)
 *カンパ贈呈(当番幹事代表から学校長へ)
 7. 当番幹事学年引き継ぎ
 (昭和58年卒業生代表から
 昭和59年卒業代表へ)
 8. 校歌斉唱
 9. 万歳唱和(ご発声東京馬洗
 会代表)
 10. 閉会の言葉

平成26年度会務報告

4月1日	創立120周年記念式典・館祖祭・同窓会総会 予告看板掲示(毘沙門橋付近、上下分かれ)	10日	創立120周年記念行事、記念誌部会(日彰館 高校)
4日	館祖祭当番幹事会(吉舎保健センター)	21日	日彰館高校 日高祭(～22日) 世羅支部総会(エレガント～塚本会長、春田副 会長出席)
7日	会計監査会(記念館)	25日	「東日本大震災報道写真展」～7月14日まで(吉 舎ふるさとプラザXa104、日彰館高校生徒会)
8日	第46回入学式(日彰館高校体育館)	28日	館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～法正寺～
10日	新入生80名記念館来館	7月3日	三役会議(奥田元宋・小由女美術館)
11日	離任式 歓送迎会(三次グランドホテル) 館祖祭当番幹事会(吉舎保健センター)	4日	館祖祭平成26年度当番幹事から次期当番幹事 への引き継ぎ会(奥記念館)
18日	館祖祭当番幹事会(吉舎保健センター)	12日	全国高等学校野球選手権大会1回戦 日彰館4 －2三原東
23日	三役会議(奥記念館) 館祖祭当番幹事会(吉舎保健センター)	16日	全国高等学校野球選手権大会2回戦 日彰館 14－3松永
26日	館祖祭・同窓会総会・記念行事準備～善逝寺・ 日彰館高校・三祖墓地ほか	18日	「吉舎お・も・て・な・し会議」第1回設立会議(日 彰館高校)
27日	館祖祭・同窓会総会・記念行事～善逝寺・日彰 館高校 記念祝賀会・当番幹事学年同期会(グランラセー レ三次) 美術館あーとあい・きさ開館20周年記念 特 別企画展(4月27日～5月18日) 奥田元宋「待月」「陸中」「翠巒」、広島日展会 選抜展(協賛：創立120周年記念事業実行委 員会)	19日	全国高等学校野球選手権大会3回戦 日彰館1 －8広島新庄
29日	館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館ほか)	20日	日彰館サングリーイベント～三次サングリー ン～
5月8日	創立120周年記念行事、記念誌部会(日彰館 高校)	25日	同窓会本部役員臨時総会(三次広域商工会吉舎 支所)
12日	日彰館高等学校教育振興協議会総会(日彰館高 校)	28日	日彰館高校・同窓会本部打合せ会議(吉田校長・ 塚本会長・春田副会長・雲井事務局長～日彰館 高校) 奥田小由女史(昭30卒)、日展理事長に就 任(女性初)
6月6日	日彰館高等学校創立120周年記念事業実行委 員会反省会(とみしの里)	30日	奥記念館耐震工事にかかわる史料移動について 視察(歴史民俗資料館職員・奥田事務長・雲井

- 事務局長～奥記念館)
- 8月1日 日彰館高校オープンスクール(参加数約200名)
- 11日 日彰館高校空調工事について協議(吉田校長・奥田事務局長・塚本会長・春田副会長～日彰館高校)
- 21日 創立120周年記念行事、記念誌部会(日彰館高校)
- 22日 福山支部・迫文四郎氏来館、作品寄贈(塚本会長・雲井事務局長～奥記念館)
- 27日 「吉舎お・も・て・な・し会議」第2回会議(日彰館高校)
- 9月2日 日彰館高校全校集会～教室空調報告(塚本会長・田口PTA会長・雲井事務局長)
- 6日 館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～奥記念館～
- 9日 三役会議(奥記念館)
- 14日 体育祭(日彰館高校)
- 18日 創立120周年記念行事、記念誌部会(日彰館高校)
- 10月1日 奥記念館耐震工事にかかわる協議(奥田事務局長・雲井事務局長～奥記念館)
- 3日 奥記念館耐震工事にかかわる協議(奥田事務局長・雲井事務局長～奥記念館)
- 5日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
- 6日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
- 7日 「吉舎お・も・て・な・し会議」第3回会議(日彰館高校)
- 9日 奥記念館耐震工事にともなう史料整理および移動(学芸員・同窓会・学校)
- 10日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
- 11日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～神杉コミュニティ～
- 12日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
- 14日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
- 16日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
- 17日 奥記念館耐震工事にともなう荷物整理および移動
- 18日 東京支部東京馬洗会支部総会(東京霞ヶ関)～塚本会長・雲井事務局長出席～
- 20日 奥田小由女女史(昭30卒)と面会(塚本会長～むらたけ総本舗)
- 23日 「吉舎お・も・て・な・し」プラン～広島大学留学生ホームステイ説明会(雲井事務局長)
- 28日 日彰館高校文化週間(～11月7日)
- 11月1日 「吉舎お・も・て・な・し」プラン～広島大学留学生ホームステイ(雲井事務局長)～2日
- 3日 同窓会報・創立120周年記念誌発送作業(吉舎支部世話人及び次年度当番幹事、日彰館高校多目的教室)
伊達亮詞(昭34卒、同窓会理事)、旭日小綬章受賞
- 4日 同窓会報・創立120周年記念誌発送作業(日彰館高校多目的教室)
- 16日 広島支部総会(ホテルセンチュリー21広島～塚本会長・春田副会長・雲井事務局長出席)
- 22日 奥田小由女女史(昭30卒)と面会(塚本会長・雲井事務局長～奥田元宗・小由女美術館)
- 23日 三次市合併10周年記念式典(三次市民ホールきりり～春田副会長出席)
奥田小由女女史(昭30卒)、三次市名誉市民の称号を受ける
奥田小由女女史(昭30卒)、三次市民ホールきりりに、レリーフ「明けゆく平和」寄贈のお披露目
沖田光治(昭21卒)、三次市善行表彰を受ける
- 26日 「吉舎お・も・て・な・し会議」第4回会議(日彰館高校)
- 12月3日 丸本武司(昭27卒)、日彰館高校書道部訪問(雲井事務局長同席)
- 5日 丸本武司(昭27卒)、日彰館高校書道部へ書道関連蔵書寄贈(雲井事務局長同席)
- 23日 クリスマスコンサート(日彰館高校他近隣中学校・高等学校吹奏楽演奏会)
～こうぬジミー・カーター・シビックホール～
- 27日 館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～神杉コミュニティ～
- 1月16日 新春茶会・百人一首かるた大会(日彰館高校)
- 26日 ようこそ先輩 有木節二氏(昭50卒)講演(吉舎生涯学習センター)
- 2月6日 合唱コンクール(日彰館高校)
- 10日 三役会議(松月)
- 27日 同窓会入会式(日彰館高校)～塚本会長・雲井事務局長～
- 3月1日 第46回卒業証書授与式
卒業生担任慰労会～グランラサーレ三次～
- 7日 館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～神杉コミュニティ～
- 20日 館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～法正寺～
- 21日 役員総会(三次広域商工会吉舎支所)
奥記念館史料・備品搬入作業
館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～法正寺～
- 23日 吹奏楽部定期演奏会(吉舎生涯学習センター)
- 25日 奥記念館史料・備品復元作業
- 4月4日 館祖祭・同窓会総会予告看板掲示(毘沙門橋付近、上下分かれ)
館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～吉舎生涯学習センター～
- 7日 第47回入学式(日彰館高校体育館)
- 9日 新入生69名記念館来館
- 10日 離任式
会計監査会(奥記念館)
歓送迎会(三次グランドホテル)
- 11日 館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～奥記念館～
- 18日 館祖祭次期当番幹事会(昭58卒)～神杉コミュニティ～
- 25日 館祖祭・同窓会総会準備～善逝寺・吉舎生涯学習センター・三祖墓地ほか
- 26日 館祖祭・同窓会総会～善逝寺・吉舎生涯学習センター
当番幹事学年同期会(三次ロイヤルホテル)
- 29日 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館ほか)

■第1号議案 平成26年度会計決算

①一般会計決算

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰越金	628,493円	628,493円	
会費	1,000,000円	1,020,000円	
(一般分)		705,000円	83名
(生徒分)		315,000円	平成26年度卒業生63名
雑収入	250,000円	317,670円	
(協力金)		175,500円	69名
(その他)		142,170円	館祖祭御供・CD・本代等
利子	507円	4,508円	ゆうちょ(4,499円)、広銀(9円)
繰入金	300,000円	300,000円	積立金取崩
	100,000円	100,000円	同窓会運営基金(120周年特別会計より)
合 計	2,279,000円	2,370,671円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
会議費	30,000円	17,600円	総会資料作製、役員会等
行事費	60,000円	60,900円	総会写真等
慶弔費	25,000円	0円	
卒業記念品費	35,000円	27,216円	卒業証書筒
旅費	250,000円	109,080円	東京支部総会等旅費
生徒活動助成費	100,000円	55,921円	全国総合文化祭茨城大会(写真部門)
通信費	300,000円	197,432円	電話代、インターネット代、郵便・宅配便送料等
印刷費	500,000円	334,876円	会報・払込票等各種印刷
事務手当費	600,000円	600,000円	事務局手当
雑費	200,000円	112,209円	
館報積立金	0円	0円	積立停止中
特別積立金	0円	0円	積立停止中
事務用品費	40,000円	7,117円	用紙、プリンターインク
予備費	109,000円	0円	
転退職記念品費	30,000円	10,000円	餞別
次年度繰越金	0円	838,320円	
合 計	2,279,000円	2,370,671円	

②特別会計決算

1. 特別積立金	12,811,370円	2. 館報積立金	1,006,288円
ゆうちょ銀行 定額	1,885,000円	ゆうちょ銀行 定額	300,000円
定額	300,000円	定額	201,000円
定額	300,000円	両備信用組合 定期	201,915円
定額	77,000円	定期	303,373円
両備信用組合 定期	1,011,518円	合 計	13,817,658円
広島銀行 定期	5,116,985円		
定期	4,120,867円		

3. 平成26年度創立120周年記念事業特別会計決算報告

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰越金	15,432,256円	15,432,256円	
寄付金	100,000円	388,707円	平成26年4月～平成27年3月末
祝賀会費	650,000円	470,000円	
祝賀会金		113,000円	
補助金	1,000,000円	1,000,000円	三次市補助金
利子	244円	2,381円	ゆうちょ預金
立替金戻入		500,000円	日彰館高校PTA 空調工事費負担金200万円立替の内、平成26年度分戻入
合 計	17,182,500円	17,906,344円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
会議費	20,000円	0円	
通信費	500,000円	304,551円	メール便等
印刷費	600,000円	345,571円	同窓会報印刷補助外
事務用品費	30,000円	4,981円	用紙外
人件費	200,000円	200,000円	事務局手当
旅費	100,000円	0円	
予備費	100,000円	0円	
式典費	200,000円	147,080円	記念式典経費
祝賀会費	1,200,000円	1,086,396円	祝賀会経費
記念品費	2,000,000円	1,946,336円	奥愛次郎物語復刻、校歌CD、クリアファイル製作
記念誌費	2,000,000円	1,803,600円	創立120周年記念誌製作費
奥記念館整備費	10,000円	11,258円	記録メディア・史料データ化
教育振興助成費	600,000円	600,000円	日彰館高校教育振興助成
同窓会運営基金	100,000円	100,000円	同窓会一般会計助成
学校行事補助	140,000円	48,586円	学校行事補助
雑費	250,000円	240,590円	当番幹事補助、手数料外
空調工事費		4,000,000円	空調工事費負担金
立替金		2,000,000円	空調工事日彰館高校PTA負担金立替金
特別会計積立金	9,132,500円	5,067,395円	次年度繰越金
合 計	17,182,500円	17,906,344円	

〈補 足〉

広島県立日彰館高等学校普通教室空調機器整備工事について

①平成26年7月25日、同窓会本部役員臨時総会開催
普通教室空調機器整備工事について、創立120周年記念事業特別会計より支援することを了承。

②普通教室空調機器整備工事費負担の内訳
全体工事費 6,000,000円。うち、負担金 4,000,000円。日彰館PTA負担金 2,000,000円。
日彰館高校PTA負担金 2,000,000円については、創立120周年記念事業実行委員会が一時立替。

下記の計画に基づいて、創立120周年記念事業特別会計へ戻入を行うことを了承。

・平成26年分 500,000円。平成27年分 500,000円。
・平成28年分 500,000円。平成29年分 500,000円。

監 査 報 告 書

次のとおり、監査を実施したので、報告します。

1. 日 時 平成27年4月10日(金) 13時30分～
2. 場 所 日彰館高等学校 奥記念館1階 会議室
3. 監査内容 平成26年4月1日より平成27年3月31日に至る一般会計並びに特別会計、創立120周年記念事業特別会計について、正確かつ適正に処理されており良好と認めます。

監事 山田 栄江◎ 佐伯 豊◎
溝上 洋◎

■第2号議案 平成27年度予算(案)

①平成27年度一般会計予算(案)

〈収入の部〉

項 目	予算額
繰越金	838,320円
会費	1,000,000円
(一般分)	
(生徒分)	
雑収入	250,000円
(協力金)	
(その他)	
利子	680円
積立金取崩	300,000円
同窓会基金繰入金	100,000円
合 計	2,489,000円

〈支出の部〉

項 目	予算額
会議費	30,000円
行事費	70,000円
慶弔費	25,000円
卒業記念品費	35,000円
旅費	250,000円
生徒活動助成費	100,000円
通信費	400,000円
印刷費	600,000円
事務手当費	600,000円
雑費	200,000円
事務用品費	40,000円
予備費	109,000円
転退職記念品費	30,000円
次年度繰越金	0円
合 計	2,489,000円

②平成27年度特別会計予算(案)

1. 特別積立金 12,811,370円
2. 館報積立金 1,006,288円

合計 13,817,658円

うち特別積立金取り崩し 300,000円を一般会計へ

差引 13,517,658円

3. 平成27年度創立120周年記念事業特別会計予算(案)

〈収入の部〉

項 目	予算額	付 記
繰越金	5,067,395円	
立替金戻入	500,000円	空調工事日彰館高校PTA負担立替金150万円の内、残り100万円は平成28年度50万円、29年度50万円戻入予定
利子	105円	
合 計	5,567,500円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	付 記
教育振興助成費	300,000円	日彰館高校教育振興助成
奥記念館整備費	100,000円	奥記念館整備、200万の予算で計画
同窓会運営基金	100,000円	同窓会一般会計助成
予備費	82,500円	
特別会計積立金	4,985,000円	次年度繰越金
合 計	5,567,500円	

●承認事項

1. 役員交代について

理事・評議員・支部役員

・退任

理事 西家 二三（昭24卒） 吉舎町上安田
 評議員 正平 浩文（昭33卒） 広島市中区西白鳥
 （広島支部）

・就任

理事 今井 和男（昭40卒） 吉舎町上安田
 理事 加川 雅博（昭57卒） 吉舎町吉舎
 評議員 花矢 啓二（昭51卒） 広島市南区宇品海岸
 （広島支部）

2. 日彰館高等学校創立120周年記念事業について

①創立120周年記念事業協賛募金・補助金について

ア. 平成27年3月末集計

支部	東京	京阪神	九州	広島	福山	尾道	三原	府中
金額	1,910	910	70	1,413	497	200	185	1,070
支部	三次	庄原	総領	世羅	上下	甲奴	三良坂	吉舎
金額	3,012	535	205	1,997	135	210	700	6,263
支部	その他の道県	同期会等	三次市補助金	総合計				
金額	260	275	1,000	20,847				

(単位：千円) ※ 千円未満は四捨五入

※ 平成27年3月末をもって、募金の取り組みを終了します。

※ 同窓生を始め関係者皆様の貴重な浄財に対し感謝申し上げ、芳名録に記帳し保存します。

※ 寄附者ご芳名の公開は、今日の情勢に鑑み、非公開とします。

②日彰館高校普通教室空調機器設置工事について

ア. 日彰館高校並びに日彰館高校PTAより、普通教室への空調機器設置についての支援要請

イ. 本部三役会議を経て、本部役員臨時総会を開催

・日時平成26年7月25日（金）午後1時30分より

・場所三次広域商工会吉舎支所

・議決夏季における気温対応と県北のほとんどの高校で空調機器設置が完了していること。

学校創立120周年記念事業の中で、寄付金を空調機器設置支援に一部充当することを了承した。

空調工事費6,000,000円。このうち創立120周年記念特別会計より4,000,000円支援。PTA負担金2,000,000円を一時立替。50万円を4年計画で返却戻入予定とする。

・経過平成26年8月18日（月）、空調機器設置工事開始。平成26年9月2日（火）、全校集会で空調機器設置を報告。運用開始。

③奥記念館整備事業について

ア. 奥記念館収蔵品の目録作成と史料のデジタル保存

イ. 奥記念館内部及び収蔵品の修繕等

平成27年度以降実施

つなぐこと

実行委員長 和 泉 唯 信

平成27年度館祖祭を無事終了することができました。

ご来賓の皆様、同窓会会長の塚本和順先生、事務局長の雲井一浩様はじめ同窓会の皆様。そして事務局の真野浩太郎君、桑田文彰君、久門美佐さん（旧姓：近藤さん）、多くの同期生。

すべての方々のお力によるものと深く感謝を申し上げます。

私は名ばかりの実行委員長で実務は全くしておりません。

ただただ私の一存で実行委員長を名乗らせていただきました。それは実行委員長として母校日彰館に感謝を伝えたかったからです。

物事が順調な時は何も感じませんでしたが、41歳で脳梗塞に倒れベッドの上で考える時間を持てると、日彰館の同期会をしないと強く思い2年後に開催しました。

なぜ日彰館なのか。小学校、中学、大学ではなくなぜ高校なのかを後で考えてみました。思い当たったのは、日彰館の時に「将来の夢」を具体的に考え始めたことです。全く不確実で不安と期待の入り混じったあの当時の気持ちを思い出しました。

「夢」は今も続いていますが、その芽吹きを助けていただいた恩師の先生、そして何よりあの校舎、学び舎そのものに改めて感謝します。

そんな今の私には館祖祭はとても大事な行事でありまして、それを先輩から「受け継ぎ」後輩に「つなぐ」こともかけがえのないことに感じます。幸いにも受け継ぐ後輩のみなさんには多数参加していただき来年の盛り上げに大いに期待を持たせてくれています。

末筆になりましたが、母校日彰館および同窓会の益々のご発展、在校生および卒業生のご活躍を祈念いたします。

館祖祭を終えて

事務局 真野 浩太郎

昨年の日彰館創立120周年式典に参加して、館祖祭当番幹事を引き受けて帰りました。

この当番幹事は、50歳を迎えた卒業生が館祖祭を運営しなくてはならないということを知らされたのが、母校を卒業した姉からの一言でした。

安易に引き受けたものの実行委員長を誰にしようか？ということからのスタートでした。我々の年代は、全体の同期会を定期的に行っていたので、元々の取りまとめ役であった和泉くんの実行委員長を務めてもらおうと早速、連絡を取り快く了承していただきました。

前年度、先輩方からの引き継ぎによると120周年式典は、内容が特別であったため参考にならないということで、不安が過ぎりました。

また、運営資金も自分たちの年代で賄わなければならないので、同期会を含めていくらの会費にするのか悩んだものです。

集まることができるものだけで、会合を重ね、打ち合わせをするのですが、細かいことを考えればきりがなく、そんな時に同窓会本部、副会長春田様、雲井事務局長様にアドバイスをいただき、なんとかやり遂げることができたことに感謝する次第です。

50歳にもなれば、各々会社、家庭、地域的役割負担もあり、思っていた以上に集まりが悪かったなあと振り返る今日この頃です。

同級生が集まれば、自然と盛り上がる話といえば、恋愛の話、修学旅行、体育祭、文化祭、マラソン等々あの頃の思い出が、走馬灯のように蘇り非常に懐かしく感慨深いものがあります。

当時と変わらぬものは、校舎と剣道が伝統的に強いこと。変わったものは、野球が強くなったこと、吹奏楽部

ができて地域貢献していることです。

終わりになりますが、是非とも在校生に言いたいのは、3年間の短い高校生活で、多くの知識、節制、忍耐、経験を積んで社会に貢献できる人材になって欲しいと思います。

館祖祭を終えて

事務局 桑 田 文 彰

なぜ50歳になると、館祖祭の幹事をするのか？ そもそも館祖祭とは？ その事を不思議に思いながら50歳を迎える昨年、先輩よりお誘いを受け館祖祭に参加しました。

120周年記念の館祖祭を体験。厳粛な中でも先輩方が活き活きと楽しそうに活動されている姿を見て感動すると同時に、自分たちも同じように出来るだろうかと不安になりました。しかし6月に引き継ぎを受け、初めて同期の幹事が集まった時、このメンバーなら必ず成功出来ると確信を持つことが出来ました。

その後実行委員長を中心に定期的に集まり準備を進めていきました。下見をしたのは120周年記念という特別な年でしたので、一昨年の先輩方が作成された資料を参考にし、試行錯誤しながらなんとか開催にこぎ着ける事が出来ました。今年の4月は天候不順が続いていたので天気が心配でしたが、先輩より今まで館祖祭で雨が降った事が無いと教えて頂きました。先輩が言われた通り前日準備、当日ともに晴天となり館祖祭及び同窓会総会、夕方からの同期会懇親パーティも盛大に盛り上がり、無事に執り行う事が出来ました。これも、「実働マニュアル」を作成し、それをもとに準備をした幹事、そして当日参加してくれた同級生が一丸となり各自の役割を果たした賜物だと思います。

館祖祭を終えて、館祖祭とは？ 奥 愛次郎館祖の法事ではありますが、人生50年の節目に同級生が集まり、友好を深め、日彰館を卒業した事への誇りを持ち、これまでの人生を振り返り、今後の人生に向けて新たな気持ちで頑張るための行事だと感じました。

最後に、いろいろアドバイスをいただいた事務局長はじめ同窓会副会長、前年度幹事他諸先輩方のおかげで無事に館祖祭を終えることが出来、お礼を申し上げます。ありがとうございました。他校には無い伝統と歴史のある行事が、今後も引き継がれていく様期待しています。後輩の皆さんよろしくお願ひします。一生に一度の事なのでぜひ参加してみてください。

館祖祭を終えて

当番幹事 小 原 初 美 (旧姓 扇田)

館祖祭について数年前までは詳しく知りませんでした。娘の吹奏楽を聴きに行った時、こんなに大切な行事があることを知り、いずれは自分達の年が来ると感じていました。

いよいよ昨年からの準備が始まり、思っていた以上に細かいことがありましたが、事務局の人達が多くのことを主に進めてくれたので、心強く思いました。

前日には4ヶ所のお墓の掃除に参加しました。多くの人数があり、とても助かりました。

当日出演する吹奏楽部は、時間配分や楽器の運搬、昼食の準備、練習場・控え室の手配と、いろいろな準備が必要でしたが、打ち合わせをしっかりとっていたお陰で、スムーズに演奏が行なわれました。毎年出演しているだけあって堂々とした演奏でした。

今回の同期の皆の団結力に感謝しつつ、これからも日彰館の伝統が続けられることに期待しています。

館祖祭当番幹事を担当して

当番幹事 中 村 茂

平成27年4月26日、昭和58年3月に日彰館高校を卒業した私たちが、館祖祭及び部総会の当番幹事を務めました。

私たちの高校受験は総合選抜で、三次方面の者も多く、志望校とは違う思いで入学した同級生も多かったと思います。しかし、3年間のJR通学、仲間と過ごした日彰館高校はとても思い出深いものでした。

歴史にあまり馴染みのない私は「カンソサイ」と聞いて何も知りませんでしたが、準備会合を重ねながら、あらためて母校である日彰館の歴史と伝統を感じるとともに、だんだんと母校愛が深まっていきました。

前日、当日と準備するなか、前年度の当番幹事様からも助言いただき、同級生も遠方からも集まり無事に何とか務めることができたことをうれしく思います。

50歳になった同級生は、私をはじめ頭は薄くなり、腹回りは和服の似合う体型となり、学生時代から比べると見る影もない？ 姿と変わっていましたが、館祖祭を通して同級生との変わらぬ友情を感じることもできました。

懇親会の最後に、大きな輪を作り、OBの皆様方とともに手をつなぎ、肩を組み、校歌を熱唱した時は感無量で涙が込みあげてきました。

「館祖祭」幹事を務めさせていただけたことに、心から感謝いたします。ありがとうございました。



平成27年度 館祖祭当番幹事 (昭和58年3月卒)
(於 グランラセーレ三次)

支 部 だ よ り

東 京 支 部

平成26年度総会報告と近況について

支部長(昭和40年卒) 杭 迫 重 臣

平成26年度の東京支部(東京馬洗会)総会並びに懇親会は10月18日(土)東京・霞が関ビル35階、東海大学校友会館・富士の間にて開催されました。来賓の方々を含め前年並みの参加者、盛会の内に終了しました。

ここに総会並びに懇親会の概要を報告すると共に、東京馬洗会の当面の諸課題について触れたいと思います。総会当日は、来賓として塚本同窓会本部会長、雲井事務局長、吉田校長、増田三次市長、十河世羅高校東京校友会会長、奥田世羅町長などにご臨席を賜り、高校や同窓会や故郷の近況をご報告いただきました。参加者は約1年振りに聞く近況とあって、真剣に耳を傾けておられました。

恒例のビンゴゲーム、開始と同時に全員が童心に帰り、カードに見入り、随所で歓声とため息、楽しいひと時を過ごしました。最後は集合写真の撮影と校歌斉唱、明年(10月17日開催予定)の再会を約し、閉会となりました。隣接する会場での二次会も盛況裡に終えることが出来ました。

さて、東京馬洗会、ご他聞に漏れず、少子高齢化の波が押し寄せており、諸々の改善と改革に直面しております。新しい体制に移行して1年余、英知を出し合って一歩ずつでも前進して参る所存でございます。皆さんからのご意見ご要望、宜しく願い申し上げます。

少子高齢化の波は広島県北にも押し寄せております。東京馬洗会として何が出来るのか、同窓会本部はもとより、世羅高校も含めた県北各支部とのコラボレーション等々、皆さんと考えて参りたいと思います。

平成26年度 東京馬洗会に参加して

報告(昭和32年卒) 内 海 洋 子(旧姓・藤川)

今年も恒例の東京馬洗会が、霞が関ビル35階で、10月18日(土)に開催されました。参加者は、ご来賓の方々とで58名でした。今年は女性の参加者が少なく寂しい気持ちがありました。

受付を済ませ会場に入り、いつもお見掛けする方々の姿を拝見して、今年もお会い出来て良かったと思ひながら席に着きました。

石川啄木の短歌の「それを聴きにゆく」の言葉のように会場に入ると、ご近所さん、同じ職場の人と一緒に居る時とは違った心のやすらぎを感じました。

同郷の人、同窓の人とのご一緒はいいですね。一瞬に日彰館時代がよみがえり、嬉しかった事、楽しかった事、悲しかった事etcを思い出しました。

ご来賓の方々のご挨拶、吉田校長先生からの日彰館の現状、今後の高校経営の方針、高校活動の報告をお聞きし、校外活動も活発に実行されていて、今後が明るく思えて嬉しく思いました。廻りの人達、同級生と話がはずんでいるうちに恒例のお楽しみの「ビンゴゲーム」が始まり、一斉に皆さんカードとにらみっこ。`リーチ` `ビンゴ` の声が行き交い、故里の物産の景品を手には皆さん、ニコニコ笑顔…皆さん子供にかえって嬉しそうでした。「逆ビンゴ」もあり、私は、くじ運がいいのか、悪いのか、昨年、今年と連続して当たりました。故里のお米を美味しくいただいています。

写真撮影、校歌斉唱、一本メで閉会。廻りの人達と来年のお花見会、東京馬洗会でお会いしましょうと言葉を交わしてお別れ…。閉会後は、同級生との懇親会に直行、高校時代にタイムスリップ、話に花が咲き楽しい一時を過ごし、来年は`喜寿` お互いに体に気を付けて、元気で又お会いしましょうねと約束して別れました。平成27年度のお花見会、東京馬洗会を楽しみにしています。

役員の皆様、大変でしようが宜しくお願いします。



平成26年度 東京馬洗会に出席して

報告(昭和50年卒) 有 木 節 二

霞が関中央官庁街の一角にある霞が関ビルの35階、東海大学校友会館で、10月18日(土)午後一時から「東京馬洗会総会」が開かれました。

日彰館高校を卒業してから早40年、仕事で東京に来て35年になりますが、8年前に行われた館祖祭当番幹事が昭和50年卒業生担当だったので、久々に同窓会にも参加しました。それがきっかけで今回の総会の案内を頂き、創立百二十周年ということもあり、思い切って参加することにいたしました。

当日は空が抜けるような秋晴れの下、多少の緊張感を感じつつ会場に向かい、受付で「有木です」と名乗ると「有木モータスの息子さん？」と暖かく迎えて下さりスーッと肩の力がほぐれたのを思い出します。会場内は既に大先輩の方々がお見えになっており、恐縮しながらも席まで案内して頂きました。

総会は来賓の皆様の郷土の様子や母校の取り組み紹介等の挨拶から始まり、懐かしい風景を思い出しながら拝聴しました。懇親会でも吉舎や母校の思い出話は尽きず広島弁が飛び交い、東京に居ながらにして帰郷したかの如く暖かい気持ちになりました。杭迫会長はじめ役員の皆様、総会運営本当にお疲れ様でした。初参加で歓迎頂いたことに感謝し、御礼申し上げます。

今回出席して少し残念だったのは、同年輩が少ないことでした。私のようにきっかけが無くて参加しない場合もあると思いますが卒業生のみなさん、是非参加してみてください。自分の故郷を東京でこれほど実感できる機会は他に無いと感じました。年の差を超え、故郷や母校を思う心の繋がりは、今の日本が取り戻さなくてはならない人間関係の原点だと思います。諸先輩方のご尽力に感謝しつつ、次回も宜しくお願い致します。

東京馬洗会 第3回懇親ゴルフ会を開催

報告(昭和40年卒) 杭 迫 重 臣

平成26年11月12日(水)、東京馬洗会有志の皆様参加による第3回懇親ゴルフ会が開催されました。開催コースは千葉県八千代市の中山カントリークラブ。参加者は70歳代から40歳代までの幅広い世代から11名のご参加をいただきました。

中山カントリークラブは数ある千葉県のゴルフ場のなかでも難コースのひとつで、現在でもカートが導入されていない歩いてラウンドするコースとしても知られています。

当日は絶好のゴルフ日和となり、高スコアが期待されたものの、ほとんどの参加者がスコアメイクに苦しまれ、プレーに集中せざるを得ない展開となりました。

こうした中、終始安定したプレーを続けられた秋山律様(昭和35年卒)がOUT48・IN46、GROSS94、HDCP19.2、NET74.8で優勝されました。と同時にベストグロスの栄にも輝かれ、いぶし銀プレーヤーとしての一端を垣間見ることが出来ました。

プレー終了後、表彰式並びに懇親会。難コースからやっと解放されたこともあって、和気あいあいの懇親会となりました。

広島ブランドショップ(TAU)や10月末に同ショップで初めてイベントを開催された(株)暮らしサポートみよし(本社・三次市、花岡吉成社長)から取り寄せた地元産品の各種賞品を手し、来年の開催を約し家路に着きました。

東京馬洗会 第2回 観桜会を開催

報告(昭和40年卒) 杭 迫 重 臣

平成27年4月2日(木)、東京・上野公園にて第2回観桜会を開催しました。

昨年は終日、本降りの雨となったこともあり、心配をしましたが、今年は絶景の桜が観れるのはこの日しか無いといえる程の良き日和となりました。公園内は平日にもかかわらず多くの外国人観光客も含め大変な賑わいでした。

会場は昨年同様、上野精養軒直営の「3153店」で総勢30名の参加者が昼食を挟み、旧交を温めました。昨年10月の東京支部総会・懇親会以来の再会の方々、遠く長野県塩尻市からご参加いただいた方、そして当日が誕生日の方など多彩で、随所で「乾杯!」「久しぶり!」「元気だった!」の掛け声と共に和やかな歓談が続き、午後2時30分、再会を約し、一本締めで閉会しました。その後は同期の方々など合い携えて西郷隆盛の銅像や桜見物そしてアメ横へと足を運ばれました。

それにしましてもお昼時にもかかわらず、ビールやワインを中心にアルコールが進むこと進むこと、大変驚きました。やはり広島県人は酒豪揃いですね。

末筆となりますが、上野精養軒にご勤務されています昭和54年卒業の清田祐司様に大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

来年の第3回観桜会は4月2日(土)、今年と同様の会場で開催すべく準備を進めてまいります。お問い合わせの上、多数の皆様のご参加をお待ちしております。



広島支部

平成26年度日彰館同窓会広島支部総会

広島支部長 折出 幸二

平成26年11月16日(日)に、平成26年度日彰館同窓会広島支部総会をホテルセンチュリー21広島で開催しました。

本部より塚本和順会長、春田佳伯副会長、雲井一浩事務局長、学校より吉田富志雄校長が出席され、賑やかなひとときを過ごしました。

広島近郊にお住まいの同窓生の皆さんのたくさんのご参加をお願いいたします。



世 羅 支 部

日彰館同窓会世羅支部総会

支部長 藤谷 征壮



日彰館同窓会 世羅支部総会 平成 27 年 6 月 13 日 (土)

	出席者	卒業		出席者	卒業
1	春田 佳伯	40	本部副会長	10	紙谷 昭司 36
2	雲井 一浩	54	本部事務局長	11	松尾 和子 37
3	小川 照三	32	本部副会長	12	石原 範子 38
4	藤谷 征壮	33	世羅支部長	13	時永 益徳 40
5	中村 幸雄	43	支部事務局長	14	小林 貞夫 41
6	近藤 康雄	50	本部理事	15	葉原 繁一 41
7	大原 俊明	25		16	海見 祐嗣 49
8	前大道德昭	30		17	奥田 正和 56
9	坂川 明邦	35			

日彰館同窓会 世羅支部定例会を世羅町のエレガントで行いました。本部から春田副会長、雲井事務局長のお二人の出席を頂きました。

出席者は昨年と同様でしたが、常連の昭和14年卒の大先輩が都合で欠席でした。午後3時から始まり夜の8時まで歓談しました。年々、ノナルの愛好者が増えるのと、体の調子が多くなりました。

ク ラ ス 会 だ よ り

昭和36年卒業4組クラス会

幹事 国利 一正

平成26年11月6日、三原市のみはらし温泉において昭和36年卒業4組クラス会を開催しました。夕方からの開始とあって、昼間は近くの本郷CCで有志による懇親ゴルフ会を行いました。クラス会の出席者は14名とやや少なかったが、関東、関西方面のほか遠くはマレーシアからの参加もあり、お互い久しぶりの再会を喜び合いました。

吉舎の学び舎を巣立って早53年、激動の時代を乗り越えてきた私達の世代も70代に入り、さすがに体力、気力ともにいささか衰えを感じる年代となりました。しかし会が始まり懐かしい校歌を歌った途端皆すぐに青春時代に戻り、思い出話や近況報告に花が咲き、あっという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。

翌日は朝風呂で昨夜のアルコールを抜き、地元の宮

本さんのお世話で現在放映中のNHKの朝の連続テレビ小説「マッサン」の舞台で有名になった「たけはら町並み保存地区」を見学しました。昼食後、お互いの健康を気遣い再会を約束して現地解散をしました。この二日間の楽しかった思い出をあらたな励みとして、クラスメートのそれぞれがこれからも心豊かな老後の人生を歩んでもらいたいと思います。



平成26年度 会費納入一覧 (1口:5,000円)

No	卒業年	名 前	口数	合計口数
1	昭38	山 地 澄 義	追 1	3
2	昭35	坂 川 明 邦	追 1	8
3	昭40	杭 迫 重 臣	追 2	6
4	昭36	漆 谷 憲 康	追 1	5
5	昭38	岡部三八会(寿山文雄)	2	4
6	昭29	塚 本 和 順	追 2	41
7	昭51	道具(生利)まゆみ	1	
8	昭38	本 田 尚 志	追 1	8
9	昭54	栗 田 勝	追 1	2
10	昭34	木山(原)和子	追 1	2
11	昭43	中 村 幸 雄	追 2	16
12	昭34	多 留 正 弘	追 1	3
13	昭53	眞 野 積	追 1	13
14	昭36	後河内(森)直美	追 2	7
15	昭40	小川(永岡)美美子	1	
16	昭39	中田(沼田)範子	追 1	9
17	昭20	藤 村 昭 夫	追 1	6
18	昭38	村上(高橋)敏子	追 1	6
19	昭26	繁 高 蒔 子	追 2	12
20	昭25	中原(橋本)秋二	追 2	19
21	昭15	秋山(宗清)末子	追 2	3
22	昭44	下 桶 時 義	1	
23	昭37	眞 野 勝 弘	追 1	5
24	昭34	加藤(中宗)初子	1	
25	昭19	山 岡 弘 二	追 1	16
26	昭48	平田(宮本)ミノリ	1	
27	昭54	河 野 俊 彦	追 1	5
28	昭24	前 原 久 夫	1	
29	昭41	桑田(伊達)保子	1	
30	昭47	高垣(奥原)善美	4	
31	昭39	明 智 祥 治	追 2	18
32	昭32	岡 田 修 治	追 2	6
33	昭29	岸 明 宏	追 1	2
34	昭54	永 島 一 秀	追 1	2
35	昭20	湯浅(谷口)光子	追 2	4
36	昭36	原 田 剛 志	追 2	3
37	昭28	児玉(土屋)悦子	2	
38	昭33	正 平 浩 文	追 2	22
39	昭29	池田(新田)静枝	追 2	3
40	昭27	野曾原 智 海	追 2	6
41	昭33	西 本 忠 教	追 2	16
42	昭41	藤 原 紀 男	追 2	56
43	昭14	眞 野 正 樹	追 2	22
44	昭46	前 義 宏	追 1	3
45	昭20	高 場 博 三	追 1	3
46	昭20	富 永 昭 治	追 1	12
47	昭33	西 家 二 三	追 1	15
48	昭23	高草(掛田)幸三	追 1	3
49	昭58	和 泉 唯 信	追 3	37
50		洲澤満治(隆宏)	4	
51	昭38	片 岡 直 輝	追 1	3
52	昭44	吉 原 顯 朗	追 1	2
53	昭27	實 平 仵	追 1	5
54	昭28	大 山 律 子	追 2	9
55	昭36	坂 本 康 孝	5	
56	昭24	宮 崎 敬 介	追 1	2
57	昭19	竹原(小森)美代子	追 1	11
58		寺 重 三千子	1	
59	平23	佐々木 央	追 1	2
60	昭30	奥田(川井)小由女	20	
61	昭19	井上(滝口)知子	追 4	9
62	昭54	池田(金本)泰子	追 1	3
63	昭29	佐々木 英 夫	追 1	3
64	昭36	児玉(石井)律子	追 1	11
65	昭9	池 田 正 利	追 1	7
66	昭29	久保田(石井)裕子	1	
67	昭46	堀 光 郁 子	追 1	5
68	平24	竹 下 和 宏	追 1	2
69	昭33	塚 本 昌 訓	追 1	17
70	昭25	服 部 宜 昭	2	
71	昭33	追林(石田)典子	追 1	12
72	昭35	倉 本 博	1	
73	昭34	垣 元 博	追 1	6
74	昭25	杉 浦 憲之介	追 1	5
75	昭44	須 澤 利 文	追 2	24
76	昭33	伊 達 かほり	追 1	8
77	昭56	福 井 靖	追 1	2
78	昭42	桐 尾 正 俊	追 1	3

No	卒業年	名 前	口数	合計口数
79	昭21	高 島 里 江	1	
80	昭52	豊 原 富規子	追 2	3
81	昭30	湯 免 龍 夫	追 2	5
82	昭54	雲 井 一 浩	追 1	6
83	昭46	奥 本 康 登	1	

平成26年度 本部運営協力金納入状況

No	卒業年	名 前	金額
1	昭43	中原(藤井)清子	1,000円
2	昭40	杭 迫 重 臣	3,000円
3	昭36	漆 谷 憲 康	5,000円
4	昭57	浜田(高島)美保子	1,000円
5	昭35	高 杉 正 彦	6,000円
6	昭31	岩 井 一 水	1,000円
7	昭41	藤 村 達 男	1,000円
8	昭46	平 野 公 章	2,000円
9	昭38	岡部三八会(寿山文雄)	10,000円
10	昭29	塚 本 和 順	10,000円
11	昭38	本 田 尚 志	5,000円
12	昭54	栗 田 勝	500円
13		末 信 丈 夫	2,000円
14	昭34	木山(原)和子	1,000円
15	昭37	松 田 信 象	1,000円
16	昭43	中 村 幸 雄	3,000円
17	昭34	多 留 正 弘	5,000円
18		南 場 尚 昌	2,000円
19	昭53	眞 野 積	5,000円
20	昭39	中田(沼田)範子	2,000円
21	昭20	藤 村 昭 夫	1,000円
22	昭38	村上(高橋)敏子	1,000円
23	昭40	西 奥 義 夫	1,000円
24	昭26	繁 高 蒔 子	1,000円
25	昭25	中原(橋本)秋二	2,000円
26	昭45	藤 原 茂 敏	3,000円
27	昭15	秋山(宗清)末子	1,000円
28	昭44	下 桶 時 義	500円
29	昭34	加藤(中宗)初子	1,000円
30	昭54	河 野 俊 彦	1,000円
31	昭41	桑田(伊達)保子	500円
32	昭36	原 田 剛 志	1,000円
33	昭28	児玉(土屋)悦子	1,000円
34	昭19	平 末 富 彦	10,000円
35	昭33	中 山 彰 夫	2,000円
36	昭27	野曾原 智 海	1,000円
37	昭33	西 本 忠 教	2,000円
38	昭49	森山(青木)香誉子	2,000円
39	昭26	安原(岩田)節子	500円
40	昭41	藤 原 紀 男	1,000円
41	昭14	眞 野 正 樹	5,000円
42	昭46	前 義 宏	500円
43	昭20	富 永 昭 治	5,000円
44	昭58	和 泉 唯 信	15,000円
45	昭38	片 岡 直 輝	1,000円
46	昭44	吉 原 顯 朗	1,000円
47	昭28	大 山 律 子	2,000円
48	昭36	坂 本 康 孝	5,000円
49	昭19	竹原(小森)美代子	500円
50		寺 重 三千子	2,000円
51	昭35	加 藤 文 則	2,000円
52	平23	佐々木 央	500円
53	昭19	井上(滝口)知子	10,000円
54	昭36	児玉(石井)律子	1,000円
55	昭29	久保田(石井)裕子	1,000円
56	昭46	堀 光 郁 子	500円
57	昭33	追林(石田)典子	1,000円
58	昭35	倉 本 博	500円
59	昭20	野 上 登	3,000円
60	昭34	垣 元 博	3,000円
61	昭57	一二三(藤田)ゆかり	1,000円
62	昭44	須 澤 利 文	1,000円
63	昭56	福 井 靖	1,000円
64	昭57	松 島 義 典	2,000円
65	昭52	豊 原 富規子	2,000円
66	昭27	松 島 利 收	2,000円
67	昭30	湯 免 龍 夫	1,000円
68	昭54	雲 井 一 浩	5,000円
69	昭46	奥 本 康 登	1,000円

日彰館高等学校創立120周年記念事業の報告

平成26年4月27日には、盛大に厳粛に創立120周年記念事業が開催できました。同窓生の皆様をはじめ、関係者の皆様の絶大なるご支援を賜りましたこと、改めまして、ここにお礼申し上げます。

平成27年3月末をもちまして、この事業会計を一旦締めましたので、この誌面を借りてご報告いたします。

創立120周年記念事業会計決算報告書

収入の部

区分	科目	収入済額	備考
寄付金	寄付金	19,847,207 円	寄付金・広告協賛金
補助金	補助金	1,000,000 円	三次市補助金
祝賀会費	祝賀会	885,000 円	会費 5,000 円 × 177 名
その他	預金利息等	130,885 円	利息、祝儀等
	収入合計	21,863,092 円	

寄付金等の状況 合計金額 19,847,207 円

東京支部	京阪神支部	九州支部	広島支部	福山支部
1,910,000 円	910,000 円	70,000 円	1,413,000 円	497,000 円
尾道支部	三原支部	府中支部	三次支部	庄原支部
200,000 円	185,000 円	1,070,000 円	3,012,000 円	535,000 円
総領支部	世羅支部	上下支部	甲奴支部	三良坂支部
205,000 円	1,997,000 円	135,000 円	210,000 円	700,000 円
吉舎支部	その他の道県	同期会等		
6,263,000 円	260,000 円	275,207 円		

※ 平成 27 年 3 月末をもって、募金の取り組みを終了しました。

※ 同窓生をはじめ関係者の皆様の貴重な浄財に対し感謝申し上げ、芳名録に記帳し永く保存します。

※ 寄付者ご芳名の公開は、今日的情勢に鑑み、非公開とします。

支出の部

区分	科目	支出済額	備考
記念行事費	記念式典	147,080 円	看板、司会者謝礼、クリーニング代等
	記念講演	300,000 円	講演料 株式会社 鵜工舎 小川三夫氏
	記念品	1,946,336 円	奥愛次郎物語（漫画縮刷 2,000 冊） 校歌 CD（2,000 枚） 衆縁和合クリアファイル（生徒用 1,000 枚）
	祝賀会	1,086,396 円	会場費、チャーターバス代等
	小 計	3,479,812 円	

区分	科目	支出済額	備考
記念行事費	創立 120 周年記念誌	1,803,600 円	記念誌 (1,800 冊)
	奥記念館整備	12,338 円	整備準備費、史料デジタル作業等
	教育振興基金	600,000 円	学校支援 (平成 26 年度分)
	同窓会運営基金	100,000 円	同窓会支援 (平成 26 年度分)
	学校行事補助	52,082 円	行事補助 (平成 26 年度のみ)
	空調工事費	4,000,000 円	普通教室空調機器設置 (6 台)
	小 計	6,568,020 円	
事務局費	通信費	1,022,411 円	通信等郵送料
	印刷費	1,532,955 円	各種文書印刷等
	会議費	13,260 円	茶菓代
	旅費	365,470 円	支部出張等
	人件費	1,400,000 円	事務局手当
	雑費	913,769 円	ポケットティッシュ製作、当番幹事補助、振込手数料等
	小 計	5,247,865 円	
	支出合計	15,295,697 円	

創立120周年記念誌



日彰館高校空調機器整備



差引残高	収入－支出	6,567,395 円	
------	-------	-------------	--

残高 6,567,395 円は基金として積立をし、残事業の奥記念館整備事業や学校支援事業等に、計画的に支出していきます。

- ・学校支援事業は、平成 27 年度以降、9 ヶ年計画で合計 270 万円支援していく予定です。
- ・同窓会運営支援事業は、平成 27 年度以降、9 ヶ年計画で合計 90 万円支援していく予定です。
- ・奥記念館整備事業は、今後 2,967,395 円の予定で整備計画を実施していく予定です。

先輩から後輩へ



迫 文四郎(号 雪心)

昭和25年卒業 福山市在住

毎日書道展会員をはじめ、書の審査会員も務められ、地域で書道教室も開かれています。

平成26年8月に、母校120周年の記念に、「在校生の皆さんにも作品の見本として見てもらえたら。」と、作品4点を奥記念館に寄贈していただきました。



「道」



「柳」



「青山元不動白雲自去来」



「為」



丸本 武司(号 恵風)

昭和27年卒業 三次市在住

県北を中心に教室も開かれてこられました。「ノーベル・ルネッサンス認定名誉作家」などに認定されています。

高校での授業を通した指導経験から、平成26年12月に、日彰館高校書道部へ、「生徒たちの手本に活用してほしい。」と、貴重な蔵書を多数寄贈していただきました。中には、絶版になっている本もあります。

書道教室内
陳列の一部

寄贈蔵書の一例

姉妹校台湾苗栗高級中学と生徒交流

平成27年5月19日、姉妹校提携を結んでいる台湾の苗栗高級中学の1、2年生有志36人の生徒が日彰館高校を訪問しました。

両校の学校紹介や合同授業などを通して交流を深めました。

台湾の生徒たちは、日本の文化に大変興味を持った様子でした。日彰館の生徒たちも、英語でしっかりコミュニケーションをとっていました。

日彰館高校の「グローバル人材育成プログラム120」の一環でもあり、国際的な視野をもって地域貢献できる人材を育てようと狙いがあります。平成27年10月には、2年生が台湾への修学旅行を実施し、苗栗高級中学へも訪問します。

苗栗高級中学の1、2年生有志を引率されている王校長先生ら3名の先生と県教育委員会の職員の方が、同窓会「奥記念館」を訪問してくださいました。



台湾で有名な本校卒業生「磯永吉」先生の記念碑も見られました。

通訳の方を通じて説明をしていただきました。また、奥愛次郎先生の三大主義など漢字で表記してある資料は、こちらの説明なしでも理解しておられました。

このような資料館があることに感心もしておられ、これからの両校のますますの交流が深まっていくことを、同窓会としても願っています。



OB 講演会 ようこそ先輩 ～後輩へのメッセージ～

高校では、日彰館創立120周年の節目を経て、新たな学校創造の取り組みがさまざまに進められています。その一つに「グローバル人材育成プログラム120」が策定され、その一環として、本校卒業の先輩を学校に招いています。

第1回

平成27年1月26日 吉舎中学校との共催

演題 「夢」を切り拓く～宇宙開発とビジネス 「身近な衛星利用」



有木 節二

昭和50年卒業 鎌倉市在住

独立行政法人宇宙航空開発
機構 (JAXA)
衛星利用推進センター参与

私が人生の節目で学んできたこと

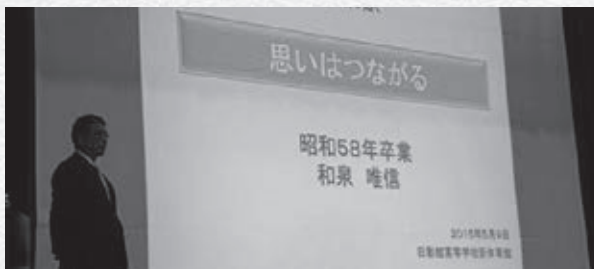
- (1)自分で集めた情報を自分が有効に活用できるかどうかを正しく判断する。
- (2)人との出会いを大切にする。なぜなら自分の人生を豊にするから。
- (3)何事も積極的に経験し、それを自信に変える。
- (4)目標は少し背伸びした設定をして努力する。
- (5)自信過剰は落とし穴。常に自分のことは自分自身で冷静に見る。
- (6)やり始めたことは諦めないで続ける強い信念を持つ。

昨日の事は変えられなくても、
明日と自分を変えられる。

第2回

平成27年5月9日 PTA総会

演題 「夢」を切り拓く～ 思いはつながる



和泉 唯信

昭和58年卒業 三次市在住

医療法人微風会理事長
徳島大学医学部神経内科
臨床教授

北大柔道部でもらったもの(まとめ)

- ☐ 既成概念にこだわらない。
- ☐ 負けを恐れない。
- ☐ 結果を出すため垣根を越えて努力する。
- ☐ 時間は限りがあると思って頑張る。
- ☐ つなぐこと。
- ☐ 良き仲間。

⇒すべては実社会で
応用できた。

後輩のみなさんへのお願い

- ☐ 先人を敬い先人から学ぶ
- ☐ 両親への感謝は口に出して言う

※和泉氏の北海道大学柔道部時代の活躍は、増田俊也著『七亭柔道記』(角川書店)に描かれています。

母 校 だ よ り

伝統の継承と躍進に向けて（近況報告）

平成27年 4月吉日

本校は、昨年、創立120周年の節目を迎えました。これを機に、「日彰館の歴史に学び、未来を拓く」をスローガンに掲げて、「グローバル人材育成プログラム120」を策定し、本校独自の教育条件を生かした新たな教育内容づくりに取り組んでいます。日彰館の先達に学び、高い理想をもって果敢に挑戦する生徒を育てる学校づくりを着実に進め、備北地区の伝統校としてのステータスを確かなものにしていきたいと考えています。より一層の御支援・御協力をお願いいたします。

1 国際理解・異文化理解への取組

広島県教育委員会から、「学校経営計画対応事業」「果敢に挑戦する児童・生徒への支援事業」の指定を受け、グローバルな視野を持って、地域に貢献できる生徒の育成に向けた新たな取組を進めています。

「吉舎おもてなしプラン」 ～生徒が企画する国際交流会～

〈平成26年度〉「吉舎お・も・て・な・しプランPart 1」

第1学年のプログラムとして、11月1・2日、広島大学短期交換留学プログラム（HUSA）の留学生27名を紅葉の美しい秋の吉舎に招き、国際交流会や吉舎街歩き英語ガイド、ホームステイ受け入れ等を行いました。同窓会、PTA、地元中学校、地域団体等の協力をいただき、校訓「衆縁和合」に通じるホスピタリティマインドについて考え、異文化に対する理解を深める実効性の高い取組ができました。

〈平成27年度〉「吉舎お・も・て・な・しプランPart 2」（予定）

全校のプログラムとして、5月19日に、一昨年度姉妹校提携した台湾国立苗栗（ミヤオリ）高級中学からの修学旅行生32名の訪問を受け、国際交流会を開催する予定です。

〈平成27年度〉「台湾研修旅行」（予定）

第2学年のプログラムとして、10月27～30日に、第2学年生徒78名が台湾研修旅行を実施します。姉妹校の苗栗（ミヤオリ）高級中学との交流会や本校卒業生で蓬莱米の研究で知られ「台湾農業の父」と評されている磯永吉先生の研究室（台湾大学に保存）訪問も計画しています。

2 地域の支援体制づくりの取組

～地域貢献・地域理解～

〈平成26年度〉「吉舎おもてなし会議」設立

7月に本校の呼びかけで7つの地域団体等の連合会議「吉舎おもてなし会議」を設立しました。月1回のペースで定例会を開催し、学校に対する理解や地域情報の共有化を進める中で、力強い支援を頂いています。地域の協力関係を強め、学校として地域活性化に寄与したいと考えています。

3 一人一人の文武両道への取組

地域、地元中学校等からは、近年、学校が安定し、部活動の実績が表れている状況について一定の評価をいただいています。生徒・保護者のアンケートにおいても、「日彰館高校では、部活動や生徒会行事を通して、生徒の自律心を育てている」という質問項目に対して、「そう思う、どちらかというと思う」に約8割の回答を得ています。現在、運動部・文化部ともに部活動単位で地域貢献活動への参加を推進しており、地域と連携した活動を通して、リーダーシップや責任感、様々な立場を理解する力の育成等、生徒の人間形成を図る指導を進めているところです。



11月1日（土）2日（日）、「グローバル人材育成プログラム120」に基づく「おもてなしプラン」を開催。広島大学短期留学生（HUSA）を招いての国際交流行事を行いました。



10月28日（火）三次青陵高校との合同芸術鑑賞会を開催。今年度は「寺内たけしとブルージーンズ」で、往年の名曲や両校の校歌の交換など、芸術の秋にふさわしいひと時でした。



7月20日（日）、ショッピングセンター「サングリーン」において、学校紹介イベントを開催。吹奏楽・書道・剣道のパフォーマンスに大きな拍手をいただきました。

〈平成26年度 部活動の主な成績〉

運動部のみならず、文化部の活躍もめざましく、3つの部活動において、全国大会出場を決めています。

野 球 部 昨夏、広島県大会には8年ぶりに初戦突破し、24年ぶりに3回戦進出。秋の県大会へ9年ぶりに出場しました。今年(平成27年)春の県大会へは3年連続出場となりました。

剣 道 部 第60回中国高等学校剣道選手権大会(鳥取大会)へ女子1名が出場。県新人剣道大会において、女子団体戦では5位に入賞し、第17回中国高等学校新人剣道大会に出場。また、剣道形の部では優勝し、連覇を果たしました。

吹 奏 楽 部 広島県高等学校吹奏楽コンクールに高校A部門で出場し、2年連続銀賞を受賞しました。また、本年度滋賀県で開催される「第39回全国高等学校総合文化祭」の広島県選抜チームに1名が推薦されています。高いステージでの挑戦を続け、県北の中学、高校の吹奏楽をリードしています。

書 道 部 第30回ふれあい書道展で広島県教育委員会賞を受賞、書道パフォーマンスカーター大会in甲奴では団体がアメリカス賞(第3位)、個人が「墨象パフォーマンス賞」を受賞しました。本年度の「第39回全国高等学校総合文化祭」への参加も決まっており、日々の研鑽が成果となって表れています。地域イベントへの参加要請も年々増え、存在感も高まっています。

美 術 部 第96回全国高校野球選手権大会広島大会の写真を県内の高校生から募った「わたしの夏・高校野球写真展」において、作品1点が金賞に選ばれ、3点が入賞しました。7月末に開催された「第38回全国高等学校総合文化祭」には、1名が県代表の一員として写真部門に参加しました。本年度も「第39回全国高等学校総合文化祭」への参加が決定し、2年連続全国大会参加を勝ち取りました。



野球部24年ぶりに3回戦進出(中国新聞)

4 生徒の学力向上に向けた環境整備の取組

昨年8月に、同窓会・PTAの御支援・御協力をいただき、全てのホームルーム教室へエアコンが設置され、快適な学習環境が整いました。

また、本校教員の授業力向上に向けて、広島県立教育センターが企画する授業改善・授業づくりをテーマとするサテライト研修・研究協力校指定を受け、センター指導主事の指導のもと、年間を通した校内研修を実施しました。本年度も継続して取り組む計画です。

編集後記

同窓会報第46号の発行を迎えました。昨年の日彰館創立120周年記念事業を終え、日彰館高校では新たな学校創造の取り組みが進められています。「日彰館の歴史に学び、未来を拓く」をスローガンに掲げて、「グローバル人材育成プログラム120」を策定し、学校の運営や生徒の育成に取り組まれています。

広島大学への短期留学生や台湾苗栗高級中学との交流も推進され、英語でのコミュニケーション能力の向上を図っておられます。この秋には2年生が台湾に修学旅行に行きます。

また、学校創立120周年記念事業において支援いたしました教室空調機器整備は、本格的に運用され、教育環境向上に大役立っているようです。

同窓会も次の周年記念に向けて、「衆縁和合」のもと会員の皆様方の更なるご活躍と会員相互の親睦交流が盛んになりますよう祈念いたします。

同窓会本部からのお願い

1. 会費(1口 5,000円)を納入してください。
2. 会費(従来の終身会費)を既に納入されている方は、できるだけ増口をお願いします。
3. 本部運営協力金 500円以上の協力をお願いします。
4. 同封の払込取扱票をご利用ください。

※同窓会本部の運営活動は、皆様からの会費や協力金で支えられています。

同窓会報掲載の原稿を募集しています。

1. 各支部やクラス会等の様子
 2. 俳句や短歌など
 3. 在学時代の思い出写真やエピソードなど
- ※ 毎年6月末で締切ります。

事務局

〒729-4211 広島県三次市吉舎町吉舎 293-2 広島県日彰館同窓会事務局 TEL (0824) 43-2664

事務局長 雲井 一浩(昭和54年3月卒業) 携帯電話 090-9065-6742

(事務局は留守が多いので、携帯へご連絡くださいますようお願いいたします。)

●PC用 <http://nitsushoukan.com/> ●スマートフォン用 <http://nitsushoukan.com/sp/index.html>

●メールアドレス nikko-ds@p1.pionet.ne.jp

【平成26年度 教育活動の様子】



4月17日(木)～18日(金)、庄原市西城町「県民の森」において、新入生集団宿泊研修を実施。



9月31日(火)～10月3日(金)、2年生研修旅行実施。



9月14日(日)、創立120周年記念体育祭を、「情熱～120年育まれた力を今ここに～」をテーマに実施しました。



6月21日(土)・22日(日)の2日間、「伝統～120周年の思いを抱いて～」をテーマに日高祭を開催。東日本大震災写真展やPTAリサイクルバザー、3年生の飲食バザーと内容豊かでした。



1月16日(金)第9回百人一首かるた大会、新春茶会を開催。広島大学百人一首愛好会と吉舎中学2年生を招き、熱戦を繰り広げました。



美術部写真部門 全国総合文化祭茨城大会に2年塚尾美咲さんが「りんごだあ」で出場



平成26年度広島県高等学校総合文化祭において、美術部写真部門の山元英津子さんの「腹ごしらえ」が2席に入選し、7月、滋賀県で開催される全国高等学校総合文化祭への出場が決まりました。



全日本写真連盟県本部賞「太陽を背に受けて」(2年塚尾美咲)



書道パフォーマンス・カーター大会・inこうぬにおいて「アメリカス賞(第3位)」を受賞しました。また、岡永真衣さんが個人特別表彰の「墨象パフォーマンス賞」を受賞しました。



平成26年度広島県高等学校総合文化祭において、書道部の岡永真衣さんの作品が優秀賞に入選し、7月、滋賀県で開催される全国高等学校総合文化祭への出場が決まりました。



平成26年度広島県高等学校新人剣道大会 剣道形女子の部で、今井和希、東春那組が優勝。団体試合女子の部も、5位入賞を果し、平成27年3月に中国高等学校新人剣道大会へ出場。



中国高校剣道選手権大会女子個人戦に、2年齋藤希翼さんが出場。



9月19日(金)「わたしの夏・高校野球写真展」入賞で教育長表敬訪問。



第55回広島県吹奏楽コンクール部門銀賞